

冬のリサイクル工作教室実施報告書 (廃棄物対策課コラボ事業)

2025/12/26

- ◆日時 : 2025年12月20日(土) 9:30~12:00
- ◆天候 : 晴
- ◆場所 : リサイクルプラザ 3F 学習室
- ◆担当 : UNCCA 殿河内・太田・松井
廃棄物対策課 小川・御内
日本管財:柳
- ◆実施目的 : ごみにも使えるモノがあること、モノを大切に使うことを、リサイクル工作を通して体験してもらう。
- ◆実施内容 : 1) ダンボールで作る「簡易クリスマスツリー」
2) 空き箱で作る万年カレンダー
- ◆参加人員 : 7名(募集20名、応募8名)

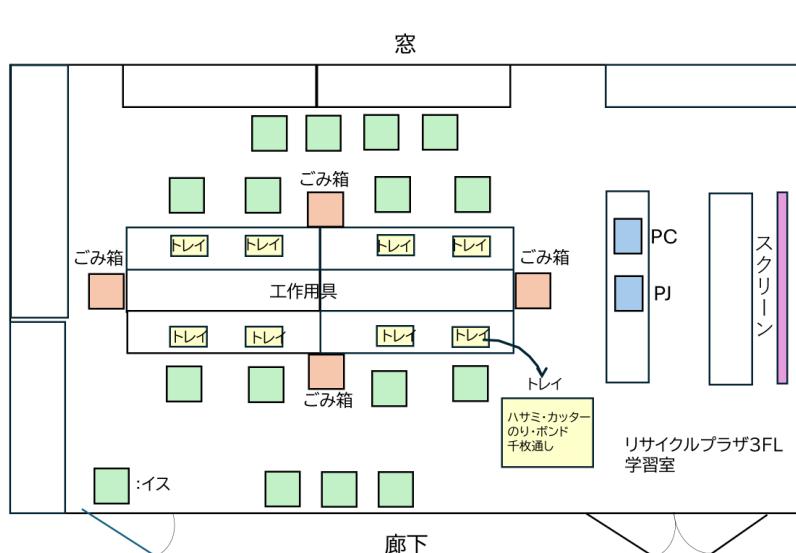
■実施方法

1. 経緯

- 1) 廃棄物対策課(以下廃対課)から工作教室開催の要望があり、内容について廃対課、UNCCA 双方の提案を検討、試作を行い、協議し、UNCCA 提案のクリスマスツリーと万年カレンダー工作に決定した。
- 2) 工作にあたってはリサイクル材料(ダンボール、厚紙(空き箱)、フィルム等)を廃対課にて準備し、ツリーは廃対課が、カレンダーは UNCCA と日本管財(柳氏)がキットを制作した。(12/17)
- 3) 廃対課との打合せ
8/2、9/2、11/14、12/2、4回 UNCCA 事務所にて、廃対課(小川・御内氏)と打合せをおこなった(殿河内・太田・松井出席)

2. 冬のリサイクル工作教室

- 1) 準備 (前日、リサイクルプラザ学習室を訪問し教室の配置を決定した。
廃対課・日本管財:受付、案内標示、駐車場
UNCCA:材料、用具、プロジェクターの設営)
- 2) レイアウト



2) スケジュール及び内容

- 9:30 開会の挨拶 廃対課 小川氏
- 9:35 クリスマスツリー工作 講師 殿河内
- ① ツリーの型紙を貼ったダンボール(A4 判2枚)を形に添ってハサミで切り抜く。
 - ② 切り取ったツリーの組立用のスリットをカッターナイフを使い、切り抜く。
 - ③ 切り抜いたツリー部品を組立て、木工ボンドで接着する。
- 10:30 万年カレンダー工作 講師 松井
- ① 厚紙でできたキットの折り曲げ部に使い終わったボールペンや千枚どうしで折り目を付ける。
 - ② 3分割されたカレンダー胴体を折り重ね、ホッチキスして7面体の筒にする。
 - ③ 曜日の入った2枚の厚紙を折り曲げ、両面テープで接着し7角形の環を作り、厚紙の円盤に貼り付け、受け台を作る。
 - ④ フタの折り目を折り7角形の筒にし、7角形の天板に辺を合わせ、のり付けする。
 - ⑤ メモ板の形を型紙で透明なプラスチック板にフェルトペンを使って7つ作り、切り抜いたメモ板を胴体隙間に挿入し、胴体にツバをはめ込んで固定する。
 - ⑥ 胴体、台、フタを組立てる。
 - ⑦ プラスチックの目かくし板を作り完成。
- 12:00 閉会の挨拶 廃対課 小川氏

写真



1)開会の挨拶

2)クリスマスツリー工作

3) 万年カレンダー工作

3) 感想

- (1) 廃対課と初めてのコラボレーションの試み。開催への廃対課の意欲が高く、実施についての対応も大変よかったです。
- (2) 参加者7名と20名募集に対して少なかったことが残念。次に実施する際は、開催日、広報の仕方等の検討が必要です。
- (3) クリスマスツリー工作
- ①ハサミによるダンボールの型抜きに予想以上時間が掛かり、ツリーの飾りつけができず残念でした。型抜きし易いキットにする等の工夫が必要です。
 - ②ハサミとカッターナイフを使い子供たちは固いダンボールと格闘し全員が型抜きに成功した。飾りつけはできなかったが、出来上がりの満足感があったと思う。
 - ③心配したカッターナイフによるケガもなく、指導員と一緒に作ったキットを組立てた。
- (4) 万年カレンダー
- ①低学年のこども達全員が難しい7角形の万年カレンダーを上手に作り上げた。

②7角形の胴体を作る際、ホッチキス止めに苦戦していた。厚紙2枚を狭い隙間でホッチキス止めは大人でも難しく、次回は改善が必要。

③時間がなくて彩色ができず、残念ながら個性的なカレンダーが出来なかった。

(5) 工作内容

工作の内容はそれほど難しくないと思うが、ダンボールや厚紙を加工する時、道具(ハサミ・カッターナイフ・ホッチキス)を使う力が低学年の子どもには不足していた。

今回は幸いにも参加者が少なく6名(UNCCA3名、廃対課2名、日本管財1名)の指導員と保護者が一緒になって工作したので、ツリーとカレンダーが時間内ぎりぎり完成した。低学年を対象とすると今回の内容はすこし欲張り過ぎたかも知れない。

以上(文責:松井)